

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	地域雇用サポート事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保	担当課	商工観光課
施策①	労働力確保と定着のための支援	電話番号	27-8421
施策②	就労支援の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和2年度～令和8年度		

事業の概要

市内商業施設内にサポートセンターを設置し、求職者等及び地域事業者を対象とした相談業務やセミナーイベント等の実施により、求職者の早期就労支援や潜在労働力の発掘、地域事業者の人材確保の支援を行う。また、移住定住希望者に対する相談窓口を設置し、当市での雇用や暮らしに関する情報提供等のサポートを一体的に行うことにより、当市での円滑な就職及び定住ができるよう支援を行うもの。

2. 現状・課題及び目的

現状・課題

震災復興事業の縮小及び、新型コロナウイルス感染症の影響により一時0.61倍まで下降した有効求人倍率（釜石・大槌。受理地別）は、現在は1倍を超える状況で推移している。ただし、少子高齢化の加速による労働人口の減少も引き続き懸念されており、将来にわたっての安定した人材の確保と、業種による求人・求職のミスマッチの解消が課題となっている。

目的

求職者等及び事業者に対し、個々のニーズにマッチしたきめ細かい支援を行うことにより、雇用に関する諸問題を解決し、誰もが自分らしくいきいきと働くことのできる社会の実現と、地域事業者の発展を目指すもの。また、当市へのUIターン・移住定住を希望する方に対し、雇用と暮らしの両面からのサポートを一体的に行うことにより、移住定住を促進し、地域の活性化や人口減少の緩和、地域産業を担う人材の確保を図るもの。

3. 主な活動及び事業費

主な活動

市内商業施設内にしごと・くらしサポートセンターを開設。就労相談等のための窓口を設置し、就職に関するカウンセリング、職業意識の啓発、各種情報提供や希望職種への適正診断などを行うことで、求職者の早期就職や在職者の定着を支援する。また、人材確保に向けた事業者への各種支援の他、UIターン・移住定住希望者への相談窓口を開設し、雇用や暮らしに関する各種情報提供を行い、市内への円滑な就職及び定住ができるよう支援する。

事業費

R 6	R 7	R 8
30,581 千円	30,581 千円	30,581 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切

評価結果

就労支援の充実を図るための市民等が気軽にキャリア相談が出来る窓口は当該センターが市内唯一であるため、その効果を十分に発揮し、誰もが自分らしく生き生きと働くことのできる環境の構築が必要である。地方創生推進交付金の期間終了を見据え、新たな財源及び運営体制等を予め検討されたい。

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石高等職業訓練校改修事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保	担当課	商工観光課
施策①	労働力確保と定着のための支援	電話番号	27-8421
施策②	就労支援の充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和6年度		
事業の概要			
校舎屋上と外壁全面の改修を行うことにより、雨漏りを解消し、訓練の効率化及び利用者の利便性の向上を図るとともに、躯体の老朽化の進行を食い止め、施設の長寿命化と維持管理費の削減を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
同校は施設の老朽化により、かねてより降雨時に雨漏りが複数個所で頻繁に起こり、訓練に支障をきたしている。訓練にはPC等水濡れ厳禁の機器を多く使用することもあり、これまでも自前での補修を試みてきたが、未だ解消されておらず抜本的な改修が必要。また、令和2年度実施の公共下水道接続工事の際、腐食で外壁が貫通している箇所が発見され、そこからの雨水の侵入も認められ、屋上のみならず外壁全体の改修が必要であると判明した。	
目的	
校舎屋上の防水改修（令和3年度実施）に加えて外壁全面の改修を行うことにより、雨漏りによる訓練への支障を解消するとともに、躯体の老朽化を食い止め、施設の長寿命化と、維持管理費の削減を図るもの。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①校舎屋上防水改修工事（令和3年度） ②校舎外壁改修工事（令和6年度）		
事業費		
R 6	R 7	R 8
31,020 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
就労支援の充実へ向け離職者訓練に係る様々な用途で活用されている欠かせない施設であるため計画的な改修工事が必要と思われる。今後、県の補助金が採択となった場合は修繕を実施されたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	高等教育機関運営支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保	担当課	国際港湾産業課
施策①	労働力確保と定着のための支援	電話番号	0193-27-8423
施策②	人材確保の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和8年度		
事業の概要			
当市にて開校予定の専門学校に対して、その運営にかかる経費の支援を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	・人口減少と少子高齢化により、労働力や若者人材の減少が顕著であり、産業やまちの活力の低下が危惧されている
目的	・高等教育機関である専門学校の誘致により、外国人留学生や若者の地元定着を狙う

3. 主な活動及び事業費

主な活動	・当市にて開校予定の専門学校に対して、その開校設置にかかる経費の支援を行う		
事業費	R 6	R 7	R 8
	9,500 千円	9,500 千円	9,500 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	見直し余地あり
評価結果			
専門学校の誘致については、地域の活力となる若者や、外国人学生の定住につながる事業である。市として開校に必要な支援は必要であることから、支援内容について精査しながら、若者や外国人が移住定住する仕組みを構築されたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	かまいし学生エール便事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保	担当課	商工観光課
施策①	U・Iターンの強化	電話番号	27-7222
施策②	効果的な情報発信	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
<p>当市出身の学生等に対して市内事業者の特産品を送ることで、物価高騰により生活困窮している学生と事業者、双方の支援を行うとともに、ふるさとのつながりを創出しようとするもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症による影響や、物価の上昇などにより、当市出身の学生および当市にある岩手大学釜石キャンパスに通う学生たちが、本来の学生生活を過ごせていない。</p>	
目的	
<p>当市出身の学生および当市にある岩手大学釜石キャンパスに通う学生を物心両面で支援し、当市とのつながりを持ち、最終的にU・Iターンや、オープンシティによる関係人口につなげる。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>市内事業者の特産品や、学生に必要と思われる物品を送付する。 WEBでの申し込みとするため、市から情報提供をする旨了承をもらい、取得したメールアドレスにU・Iターンや、就業・観光情報を発信する。</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
3,150 千円	3,150 千円	3,150 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>定住推進事業と連携し、アンケート調査を分析しながら、釜石市のUターン施策につなげるための情報収集ツールとして有効活用されたい。また、他課の事業とも連動させUターンにつなげるスキームを確立されたい。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	地域おこし協力隊事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保	担当課	総合政策課
施策①	U・Iターンの強化	電話番号	0193-27-8463
施策②	特色ある移住誘致	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	平成31年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、住民の生活支援等の地域協力活動を行いながら、地域への定住・定着を図るため、総務省地域おこし協力隊制度を活用し、都市地域から生活の拠点を移した者を地域おこし協力隊員として募集・採用するもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
人口減少や少子高齢化により地域活動の担い手が不足し、地域コミュニティの維持が困難になってきている。	
目的	
総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や住民の生活支援等の地域協力活動を行いながら地域への定住・定着を図り、持続可能なまちを実現させる。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>①地域おこし協力隊の募集及びマッチング ②地域おこし協力隊員の活動費支給及び日々の活動サポート ③地域おこし協力隊起業支援補助金の交付 ④地域おこし協力隊インターン、おためし地域おこし協力隊制度を活動した募集のすそ野拡大</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
40,520 千円	40,520 千円	40,520 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>協力隊員がまちの活性化にどれほど寄与するか、定住できるかなどを採用プロセスから意識し、インターン終了後、インターン生が市民や市内企業との関わりを持ち続け、経営力の強化や担い手の確保につながるよう、関係各課・他事業と連動し実施されたい。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	定住推進事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保	担当課	商工観光課
施策①	U・Iターンの強化	電話番号	27-7222
施策②	特色ある移住誘致	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和2年度～令和7年度		
事業の概要			
地域の活性化及び人口減少の緩和を図るため、U・Iターンへ向けた取組として①働きかけ・きっかけづくり、②住宅対策など経済的な支援、③情報発信・周知の3つを有機的に連動させ施策を展開するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
出生数の減少と社会減のどちらも歯止めがかからず、人口減が続いている。転出数は令和2年度 1,139人、令和3年度 1,165人、令和4年度 1,158人で、対して、転入数は令和2年度 863人、令和3年度 863人、令和4年度 978人となっている。	
目的	
当市へのU・Iターン者を増加させ、生産年齢人口を確保し、産業および市民生活を活性化する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
情報発信により、当市を知ってもらうこと。(ポータルサイト、SNS発信及びパンフレットの作成) U・Iターン検討者への相談対応。(移住コーディネーター) U・Iターンを呼び込む施策の検討、実施。(移住イベントへの出展、情報発信ツールの充実、各種補助金)		
事業費		
R 6	R 7	R 8
22,998 千円	22,998 千円	22,998 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
移住定住を推進する重要な事業であり、釜石市のPR、相談、先輩移住者の声、お試し移住、移住する人への補助金などが面的に整備されている。引き続き効果検証を行い、補助金内容の見直しを行いながら、釜石市のU・Iターンの強化を検討されたい。			